

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
110010	教養基礎演習A [GC1]	川口 智恵	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110020	教養基礎演習A [EC1]	松本 純一	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110030	教養基礎演習A [GC2]	竹内 雅俊	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110040	教養基礎演習A [EC2]	中尾 照代	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110050	教養基礎演習A [GC3]	山本 博子	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110060	教養基礎演習A [EC3]	横江 百合子	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110070	教養基礎演習A [GC4]	玉井 隆	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110080	教養基礎演習A [EC4]	末藤 美津子	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110090	教養基礎演習A [GC5/EC5]	依田 悠介	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110100	教養基礎演習A [BA1]	石黒 順子	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110110	教養基礎演習A [BA2]	八塩 圭子	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110120	教養基礎演習A [BA3]	平野 賢哉	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110130	教養基礎演習A [BA4]	隈本 純	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110140	教養基礎演習A [BA5]	樺井 希依子	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110150	教養基礎演習A [BA6]	赤尾 充哉	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110160	教養基礎演習A [BA7]	今井 克佳	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110170	教養基礎演習A [BA8]	安藤 拓生	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110180	教養基礎演習A [HS1]	佐藤 淳一	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110190	教養基礎演習A [HS2]	加藤 恵理	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110200	教養基礎演習A [HS3]	塚本 匡	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110210	教養基礎演習A [HS4]	増満 圭子	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110220	教養基礎演習A [HS5]	田蔵 奈緒	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110230	教養基礎演習A [HS6]	足田 和人	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110240	教養基礎演習A [HS7]	飯田 明日美	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
110250	教養基礎演習A [HS8]	鈴木 義也	・毎回の授業での課題：52% (4%×13回) ・宿題 (図書館オリエンテーション)：8% ・レポート課題：40%			
118010	基礎英語1A [GC1]	戸室 京子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118020	基礎英語1A [EC1]	金曾 祐哉	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118030	基礎英語1A [GC2]	熊田 岐子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118040	基礎英語1A [EC2]	岡田 奈緒美	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118050	基礎英語1A [GC3]	志澤 剛	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118060	基礎英語1A [EC3]	熊田 岐子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118070	基礎英語1A [GC4]	ダレル ハーディー	Assessment will be based on the level of achievement of the course objectives. It includes assignments, quizzes, class participation, etc. Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59-			
118080	基礎英語1A [EC4]	カサンドラ ゲバラ	Assessment will be based on the level of achievement of the course objectives. It includes assignments, quizzes, class participation, etc. Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59-			

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
118090	基礎英語1A [GC5/EC5]	カサンドラ ゲバラ	Assessment will be based on the level of achievement of the course objectives. It includes assignments, quizzes, class participation, etc. Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59-			
118100	基礎英語1A [BA1]	山田 治	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118110	基礎英語1A [BA2]	中村 佐知子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118120	基礎英語1A [BA3]	長原 和子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する。 A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118130	基礎英語1A [BA4]	大村 恵子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118140	基礎英語1A [BA5]	本間 須摩子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118150	基礎英語1A [BA6]	小野 雅子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する。A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118160	基礎英語1A [BA7]	戸原 京子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118170	基礎英語1A [BA8]	金曾 祐哉	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118180	基礎英語1A [HS1]	金曾 祐哉	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118190	基礎英語1A [HS2]	金曾 祐哉	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118200	基礎英語1A [HS3]	木全 睦子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118210	基礎英語1A [HS4]	長原 和子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する。 A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118220	基礎英語1A [HS5]	小野 雅子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する。A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118230	基礎英語1A [HS6]	本間 須摩子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118240	基礎英語1A [HS7]	加藤 恵理	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118250	基礎英語1A [HS8]	福田 晶子	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118550	基礎英語2A [GC1]	加藤 良則	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118560	基礎英語2A [EC1]	野上 文子	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118570	基礎英語2A [GC2]	勝田 薫	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118580	基礎英語2A [EC2]	河島 弘美	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118590	基礎英語2A [GC3]	松本 純一	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118600	基礎英語2A [EC3]	宮房 寿美子	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118610	基礎英語2A [GC4]	カサンドラ ゲバラ	Assessment will be based on the following: ・ how well students have come to meet the course objectives 80% ・ VELC Test Online Reading Section 20% Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59-			
118620	基礎英語2A [EC4]	ダレル ハーディー	Assessment will be based on the following: ・ how well students have come to meet the course objectives 80% ・ VELC Test Online Reading Section 20% Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59-			

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
118630	基礎英語2A [GC5/EC5]	青木 真奈	Assessment will be based on the following: ・ how well students have come to meet the course objectives 80% ・ VELC Test Online Reading Section 20% Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59- 次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118640	基礎英語2A [BA1]	足田 和人	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118650	基礎英語2A [BA2]	古賀 敬人	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118660	基礎英語2A [BA3]	梅山 香代子	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118670	基礎英語2A [BA4]	猿俣 佳瑞美	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118680	基礎英語2A [BA5]	野上 文子	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118690	基礎英語2A [BA6]	北田 敬子	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118700	基礎英語2A [BA7]	田中 智子	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118710	基礎英語2A [BA8]	猿俣 佳瑞美	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118720	基礎英語2A [HS1]	菅原 千津	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118730	基礎英語2A [HS2]	梅山 香代子	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118740	基礎英語2A [HS3]	菅原 千津	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118750	基礎英語2A [HS4]	古賀 敬人	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118760	基礎英語2A [HS5]	中村 佐知子	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118770	基礎英語2A [HS6]	河島 弘美	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118780	基礎英語2A [HS7]	山形 明子	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
118790	基礎英語2A [HS8]	岡田 奈緒美	次の二つの点から評価が決めるられる: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リーディングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
119090	基礎英語3A [GC1]	佐藤 泉	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119100	基礎英語3A [EC1]	飯尾 牧子	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119110	基礎英語3A [GC2]	木全 睦子	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119120	基礎英語3A [EC2]	野上 文子	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119130	基礎英語3A [GC3]	猪俣 佳瑞美	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119140	基礎英語3A [EC3]	下山 幸成	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119150	基礎英語3A [GC4]	ロイ モリス	Assessment will be based on the following: ・ how well students have come to meet the course objectives 80% ・ VELC Test Online Listening Section 20% Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59-			
119160	基礎英語3A [EC4]	フーン ジャン	Assessment will be based on the following: ・ how well students have come to meet the course objectives 80% ・ VELC Test Online Listening Section 20% Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59-			
119170	基礎英語3A [GC5/EC5]	ゲイル ジャーディン	Assessment will be based on the following: ・ how well students have come to meet the course objectives 80% ・ VELC Test Online Listening Section 20% Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59-			
119180	基礎英語3A [BA1]	依田 悠介	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119190	基礎英語3A [BA2]	大村 恵子	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119200	基礎英語3A [BA3]	中村 佐知子	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119210	基礎英語3A [BA4]	青木 真奈	Assessment will be based on the following: ・ how well students have come to meet the course objectives 80% ・ VELC Test Online Listening Section 20% Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59-次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119220	基礎英語3A [BA5]	田中 智子	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119230	基礎英語3A [BA6]	横江 百合子	次の二つの点から評価が決める： ・上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
119240	基礎英語3A [BA7]	青木 真奈	Assessment will be based on the following: ・ how well students have come to meet the course objectives 80% ・ VELC Test Online Listening Section 20% Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59-次の二つの点から評価が決める: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119250	基礎英語3A [BA8]	青木 真奈	Assessment will be based on the following: ・ how well students have come to meet the course objectives 80% ・ VELC Test Online Listening Section 20% Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59-次の二つの点から評価が決める: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119260	基礎英語3A [HS1]	加藤 恵理	次の二つの点から評価が決める: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119270	基礎英語3A [HS2]	足田 和人	次の二つの点から評価が決める: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119280	基礎英語3A [HS3]	滝沢 麻由美	次の二つの点から評価が決める: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119290	基礎英語3A [HS4]	木全 睦子	次の二つの点から評価が決める: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119300	基礎英語3A [HS5]	木全 睦子	次の二つの点から評価が決める: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119310	基礎英語3A [HS6]	志澤 剛	次の二つの点から評価が決める: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119320	基礎英語3A [HS7]	横江 百合子	次の二つの点から評価が決める: ・ 上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などによる総合評価 80% ・ 一般英語学力テスト (VELC Test オンライン) リスニングセクションの評価 20% A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
119330	基礎英語3A [HS8]	ベンジャミン メイナールド	Assessment will be based on the following: ・ how well students have come to meet the course objectives 80% ・ VELC Test Online Listening Section 20% Final grades will be based on the following scoring system: A: 100-80 B: 79-70 C: 69-60 D: 59-			
120170	応用英語IA(総合英語)	松本 純一	平常点100% (毎回の講義課題の集計による)			
120200	応用英語IA(総合英語)	山田 治	以下の方法にて評価する。 ・ Teams内で提示した講義課題 60% ・ Teams内で提示した期末課題 20% ・ オンライン講義 (Zoom) への参加度 20% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
120210	応用英語IA(総合英語)	小林 広直	1) 授業ごとの課題の提出 60% ※第1~第12回の授業課題を毎回提出(各回5点満点で採点)。締切は、講義当日の21時まで。 2) 期末試験 20% ※教科書、ノート、辞書などすべて「持ち込み可」。第13回に実施。 3) 期末レポート 20% ※英語で自己紹介を書く(300 words以上) A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
120250	応用英語IA(総合英語)	北田 敬子	授業参加度 (20%) 課題提出 (30%) 授業内小テスト合計 (50%) 授業参加度 (出席) は毎回の「リアクションコメント」の内容から判定します。			
120320	応用英語IA(総合英語)	カサンドラ ゲバラ	Journals (15%), Chapter quizzes (20%), Homework (20%), Final Assessment (20%), and Class			
120330	応用英語IA(総合英語)	北田 敬子	授業参加度 (20%) 課題提出 (30%) 授業内小テスト合計 (50%) 授業参加度 (出席) は毎回の「リアクションコメント」の内容から判定します。			
120360	応用英語IA(総合英語)	志澤 剛	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
120370	応用英語IA(総合英語)	猿俣 佳瑞美	オンライン課題 (80%) リアクションペーパー (20%) A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
120380	応用英語IA(総合英語)	戸室 京子	教科書の練習問題と訳出文50%、物語要約文(学期末)30%、振り返りレポート20%です。			

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
120410	応用英語IA	津村 敬雄	評価方法：授業内活動、課題により総合的に評価する。 評価基準：授業内活動50点、課題50点とし、60点以上を合格とする。			
120730	応用英語II-1A(Reading & Writing)	福田 晶子	上記の到達目標を基準とし、以下の観点から総合的に評価する。 ・小テスト ・課題/提出物 ・授業への参加姿勢 ・リフレクションコメント ただし、出席時数が授業時数の2/3以上の者が評価対象となる。 A: 100~80 B: 79~70 C: 69~60 D: 60未満			
120770	応用英語II-1A(Reading & Writing)	加藤 良則	毎回の課題(小テスト)提出(80%)と授業参加度(20%) A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
120810	応用英語II-1A(Reading & Writing)	加藤 良則	毎回の課題(小テスト)提出(80%)と授業参加度(20%) A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
120820	応用英語II-1A(Reading & Writing)	山形 明子	①小テスト(40%)、②毎回の授業の提出課題を含む学習への取り組み・授業参加度(60%)を合わせて総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
120830	応用英語II-1A(Reading & Writing)	中村 佐知子	次の2点により、総合的な評価を行います。<1. 授業への参加度…50% 2. 小テスト…50%> ※A: 80~100 B: 70~79 C: 60~69 D: 60未満			
120860	応用英語II-2A(Listening & Speaking)	福田 晶子	上記の到達目標を基準とし、以下の観点から総合的に評価する。 ・小テスト ・課題/提出物 ・授業への参加姿勢 ・リフレクションコメント ただし、出席時数が授業時数の2/3以上の者が評価対象となる。 A: 100~80 B: 79~70 C: 69~60 D: 60未満			
120870	応用英語II-2A(Listening & Speaking)	中尾 照代	以下の方法にて評価する。 授業参加・課題等: 30% Online Practice: 40% 小テスト: 10% 理解度確認テスト: 20%			
120890	応用英語II-2A	富永 裕子	評価方法: 授業参加意欲、事前・事後学習、授業内活動、課題処理により総合的に評価する。 評価基準: 1. 授業参加意欲10% 2. 事前・事後学習30% 3. 授業内活動10% 4. 課題処理50%とし、60点以上が合格 A:80-100 B:70-79 C:60-69 D:60未満			
120900	応用英語II-2A(Listening & Speaking)	カサンドラ ゲバラ	Journals (15%), Chapter quizzes (20%), Speaking Task 1 (10%), Speaking Task 2 (15%), Speaking Task 3 (20%), Homework and Class Participation (20%)			
120930	応用英語II-2A(Listening & Speaking)	田中 智子	上記の到達目標と基準とし、課題、小テスト、授業参加などで、総合的に評価する。 A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
120950	応用英語II-2A [ICP]	松本 美千代	Evaluation is based on the average score of the submitted assignments in each class and the final report. The final report accounts for 20% and the assignments account for 80%.			
121190	応用英語II-3A(資格試験対策)	田中 智子	上記の到達目標と基準とし、課題、小テスト、授業参加などで、総合的に評価する。 A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
121200	応用英語II-3A(資格試験対策)	山田 治	以下の方法にて評価する。 ・Teams内で提示した講義課題 60% ・Teams内で提示した期末課題 20% ・オンライン講義 (Zoom) への参加度 20% A: 80~100, B: 70~79, C: 60~69, D: 60未満			
121210	応用英語II-3A	隅田 朗彦	授業への参加度(30%)、各授業中の課題提出(40%)、まとめ課題(30%)	基礎的な文法事項について言語活動を通じた話す訓練を行う。ワークを通して教科書のトピックを利用した実践を行うことで、スピーキング指導技術を体験する。また、スピーチ原稿を作成する実践を通してスピーチ訓練を行う。		
121220	応用英語II-3A(資格試験対策)	猪俣 佳瑞美	オンライン課題 (80%) リアクションペーパー (20%) A: 80~100, B: 70~79, C: 60~69, D: 60未満			
121230	応用英語II-3A(資格試験対策)	戸室 京子	教科書練習問題40%、練習問題の解答理由40%、振り返りレポート20%です。			
121240	応用英語II-3A(資格試験対策)	カサンドラ ゲバラ	Journals (15%), Chapter quizzes (20%), Homework (20%), Final Assessment (20%), Class Participation			
121260	応用英語II-3A(資格試験対策)	ジェフリーデュランド	Class activities and homework: 80%, Final Project: 20%			
121490	ALPS(英語特別選抜)II-2A	セーラ バーチュリ	Each of the tasks this semester make up the following percentages and there is no final exam: ・First Impressions Reflection Paper: 10% ・Affluenza Reflection Paper: 10% ・Business Jargon Role Play 5% ・Change Quiz 5% ・Change Presentation 10% ・Work Space Report 20% ・The Boss Quiz 5% ・Personification Reflection Paper 10% ・Motivation Quiz 5% ・Mission Statement Reflection Paper 10% ・Dragon's Den Presentation 10%  Plus if you want to get bonus points keep an eye out for any bonus tasks I assign! These can help boost your score!			
122170	中国語A	玉 安萍	授業への参加度 20% 各種の提出物 60% 授業内での小テスト 20% A: 80~100, B: 70~79, C: 60~69, D: 60未満			
122180	中国語A	成 爽	授業への参加度 20% 各種の提出物 60% 授業内での小テスト 20% A: 80~100, B: 70~79, C: 60~69, D: 60未満			
122190	中国語A	成 爽	授業への参加度 20% 各種の提出物 60% 授業内での小テスト 20% A: 80~100, B: 70~79, C: 60~69, D: 60未満			

科目コード	科目名	科目担当者	項目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
122200	中国語A	成 寅	授業への参加度 20% 各種の提出物 60% 授業内での小テスト 20% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
122210	中国語A	成 理	授業への参加度 20% 各種の提出物 60% 授業内での小テスト 20% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
122220	中国語A	王 安萍	授業への参加度 20% 各種の提出物 60% 授業内での小テスト 20% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
122230	中国語A	王 安萍	授業への参加度 20% 各種の提出物 60% 授業内での小テスト 20% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
122310	中国語会話	成 寅	授業への参加度 20% 各種の提出物 60% 授業内での小テスト 20% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
122320	中国語会話	成 寅	授業への参加度 20% 各種の提出物 60% 授業内での小テスト 20% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
122330	ハングルA	金 娜玄	授業内課題（聞き取りテスト）とレポート80%、リアクションペーパー（読みテスト）20%（他の教員の評価方法は異なることもある）			
122340	ハングルA	白 恩正	授業内課題（聞き取りテスト）とレポート80%、リアクションペーパー（読みテスト）20%（他の教員の評価方法は異なることもある）			
122350	ハングルA	イ ジョンミン	授業内課題（聞き取りテスト）とレポート80%、リアクションペーパー（読みテスト）20%（他の教員の評価方法は異なることもある）			
122360	ハングルA	イ ジョンミン	授業内課題（聞き取りテスト）とレポート80%、リアクションペーパー（読みテスト）20%（他の教員の評価方法は異なることもある）			
122370	ハングルA	白 恩正	授業内課題（聞き取りテスト）とレポート80%、リアクションペーパー（読みテスト）20%（他の教員の評価方法は異なることもある）			
122420	ハングル会話	金 娜玄	授業内課題（聞き取りテスト）とレポート80%、リアクションペーパー（読みテスト）20%（他の教員の評価方法は異なることもある）			
122430	ハングル会話	イ ジョンミン	授業内課題（聞き取りテスト）とレポート80%、リアクションペーパー（読みテスト）20%（他の教員の評価方法は異なることもある）			
122440	スペイン語A	マリオ オバンド	授業への取組み姿勢と参加態度：30% 小テスト：30% 期末試験：40% 評価基準【A：80~100、B：70~79、C：60~69、D：60未満】 第一回目の授業では、担当教員による履修説明などがある。必ず出席すること。 第一回目の授業に出席していない場合に、講義を履修できない場合がある。	スペイン語を初めて学ぶ学生を対象とします。 本授業では、基本的な語彙・文法の確認を通して、スペイン語の発音とアクセント、イントネーションに慣れ、基本的な文型を理解することを目的とします。また、基本動詞の現在形活用を学びます なお、授業計画は、学生の理解度に合わせ、変更することがあります。	スペイン語の音声に慣れ、正しく発音できるようになる。 基本的な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。 基本的な動詞の現在形活用を習得する。	使用しない。 必要に応じてプリントを配布する。
122450	スペイン語A	ホセ モンターニョ	授業への取組み姿勢と参加態度：30% 小テスト：30% 期末試験：40% 評価基準【A：80~100、B：70~79、C：60~69、D：60未満】 第一回目の授業では、担当教員による履修説明などがある。必ず出席すること。 第一回目の授業に出席していない場合に、講義を履修できない場合がある。	スペイン語を初めて学ぶ学生を対象とします。 本授業では、基本的な語彙・文法の確認を通して、スペイン語の発音とアクセント、イントネーションに慣れ、基本的な文型を理解することを目的とします。また、基本動詞の現在形活用を学びます なお、授業計画は、学生の理解度に合わせ、変更することがあります。	スペイン語の音声に慣れ、正しく発音できるようになる。 基本的な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。 基本的な動詞の現在形活用を習得する。	使用しない。 必要に応じてプリントを配布する。
122460	スペイン語A	ホセ モンターニョ	授業への取組み姿勢と参加態度：30% 小テスト：30% 期末試験：40% 評価基準【A：80~100、B：70~79、C：60~69、D：60未満】 第一回目の授業では、担当教員による履修説明などがある。必ず出席すること。 第一回目の授業に出席していない場合に、講義を履修できない場合がある。	スペイン語を初めて学ぶ学生を対象とします。 本授業では、基本的な語彙・文法の確認を通して、スペイン語の発音とアクセント、イントネーションに慣れ、基本的な文型を理解することを目的とします。また、基本動詞の現在形活用を学びます なお、授業計画は、学生の理解度に合わせ、変更することがあります。	スペイン語の音声に慣れ、正しく発音できるようになる。 基本的な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。 基本的な動詞の現在形活用を習得する。	使用しない。 必要に応じてプリントを配布する。
122490	スペイン語会話	マリオ オバンド	授業への取組み姿勢と参加態度：30% 小テスト：30% 期末試験：40%	スペイン語A、Bを履修済み、または主な規則活用動詞、不規則活用動詞の現在形まで習得済みの学生を対象とします。 主な動詞の現在形活用を復習し、さらに、「gustar」型動詞や再帰動詞を学ぶことで、日常生活や自分の意思をより広範囲に表現できるようになります。 また、必要に応じ視聴覚教材を活用してスペイン語圏の文化や習慣、人々について学びます。 なお、授業計画は、学生の理解度に合わせ、変更することがあります。	主な規則/不規則活用動詞、「gustar」型動詞を使った表現ができるようになる。 再帰動詞の現在形活用と用法を習得して、日常の行動や自分の意思を幅広く表現できるようになる。 また、スペイン語圏の文化についての知識を深める。	使用しない。 必要に応じてプリントを配布する。
122500	スペイン語会話	ホセ モンターニョ	授業への取組み姿勢と参加態度：30% 小テスト：30% 期末試験：40%	スペイン語A、Bを履修済み、または主な規則活用動詞、不規則活用動詞の現在形まで習得済みの学生を対象とします。 主な動詞の現在形活用を復習し、さらに、「gustar」型動詞や再帰動詞を学ぶことで、日常生活や自分の意思をより広範囲に表現できるようになります。 また、必要に応じ視聴覚教材を活用してスペイン語圏の文化や習慣、人々について学びます。 なお、授業計画は、学生の理解度に合わせ、変更することがあります。	主な規則/不規則活用動詞、「gustar」型動詞を使った表現ができるようになる。 再帰動詞の現在形活用と用法を習得して、日常の行動や自分の意思を幅広く表現できるようになる。 また、スペイン語圏の文化についての知識を深める。	使用しない。 必要に応じてプリントを配布する。
122510	日本語A	山本 博子	授業における毎回の提出課題のうち、比較的負担の少ない4回分は7点満点、その他の9回分は8点満点とし、合計100点満点とする。（4回×7点+9回×8点=100点満点） 対面授業より学生自身に調べさせる課題が多いので、これをもって通常の15回分の授業に相当するとみなす。			
123010	日本語表現法 [K201]	佐田 公子	(1) 評価方法 毎回の課題提出状況、レポートオンラインまとめテストにより総合的に評価する。 (2) 評価基準 毎回の課題（宿題も含めて15回分）：45%（3%×15回）、小論文課題：30%、オンラインまとめテスト25%で評価する。			

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
123030	日本語表現法 [K203]	新居田 純野	(1) 評価方法 毎回の課題提出状況、レポートオンラインまとめテストにより総合的に評価する。 (2) 評価基準 毎回の課題（宿題も含めて15回分）：45%（3%×15回）、小論文課題：30%、オンラインまとめテスト25%で評価する。			
123040	日本語表現法 [K204]	山本 博子	(1) 評価方法 毎回の課題提出状況、レポートオンラインまとめテストにより総合的に評価する。 (2) 評価基準 毎回の課題（宿題も含めて15回分）：45%（3%×15回）、小論文課題：30%、オンラインまとめテスト25%で評価する。			
123060	日本語表現法 [G201]	増満 圭子	(1) 評価方法 毎回の課題提出状況、レポートオンラインまとめテストにより総合的に評価する。 (2) 評価基準 毎回の課題（宿題も含めて15回分）：45%（3%×15回）、小論文課題：30%、オンラインまとめテスト25%で評価する。			
123080	日本語表現法 [G203]	神田 由美子	(1) 評価方法 毎回の課題提出状況、レポートオンラインまとめテストにより総合的に評価する。 (2) 評価基準 毎回の課題（宿題も含めて15回分）：45%（3%×15回）、小論文課題：30%、オンラインまとめテスト25%で評価する。			
123090	日本語表現法 [G204]	今井 克佳	(1) 評価方法 毎回の課題提出状況、レポートオンラインまとめテストにより総合的に評価する。 (2) 評価基準 毎回の課題（宿題も含めて15回分）：45%（3%×15回）、小論文課題：30%、オンラインまとめテスト25%で評価する。			
123110	日本語表現法 [N201]	増満 圭子	(1) 評価方法 毎回の課題提出状況、レポートオンラインまとめテストにより総合的に評価する。 (2) 評価基準 毎回の課題（宿題も含めて15回分）：45%（3%×15回）、小論文課題：30%、オンラインまとめテスト25%で評価する。			
123130	日本語表現法 [N203]	布施 薫	(1) 評価方法 毎回の課題提出状況、レポートオンラインまとめテストにより総合的に評価する。 (2) 評価基準 毎回の課題（宿題も含めて15回分）：45%（3%×15回）、小論文課題：30%、オンラインまとめテスト25%で評価する。			
123140	日本語表現法 [N204]	飯田 明日美	(1) 評価方法 毎回の課題提出状況、レポートオンラインまとめテストにより総合的に評価する。 (2) 評価基準 毎回の課題（宿題も含めて15回分）：45%（3%×15回）、小論文課題：30%、オンラインまとめテスト25%で評価する。			
123160	日本語表現技法	布施 薫	(1) 評価方法 課題提出状況、レポート、オンラインまとめテストにより総合的に評価する。 (2) 評価基準 授業参加度、毎回の課題など平常点45パーセント、文獻調査報告型レポート課題30パーセント、オンラインまとめテスト（日本語検定問題）25パーセントで評価する。	②講義の目的・内容から以下の部分を削除 「さらにその内容をパワーポイントスライドを用いた発表資料とし、講義時間内で発表を行い、他の受講生や教員の評価を受け、余裕があればディスカッションにつなげる。 受講人数が多い場合、教員の判断により、実際の発表は代表者のみとなり、グループ発表とするなどの措置をとるが、必ず全員がパワーポイントスライドの印刷物を課題として提出する。」	③到達目標から以下の部分を削除 「③自分の作成したレポートをパワーポイントでプレゼンできる力を身につける。」	
123180	日本語表現技法	今井 克佳	(1) 評価方法 課題提出状況、レポート、オンラインまとめテストにより総合的に評価する。 (2) 評価基準 授業参加度、毎回の課題など平常点45パーセント、文獻調査報告型レポート課題30パーセント、オンラインまとめテスト（日本語検定問題）25パーセントで評価する。	②講義の目的・内容から以下の部分を削除 「さらにその内容をパワーポイントスライドを用いた発表資料とし、講義時間内で発表を行い、他の受講生や教員の評価を受け、余裕があればディスカッションにつなげる。 受講人数が多い場合、教員の判断により、実際の発表は代表者のみとなり、グループ発表とするなどの措置をとるが、必ず全員がパワーポイントスライドの印刷物を課題として提出する。」	③到達目標から以下の部分を削除 「③自分の作成したレポートをパワーポイントでプレゼンできる力を身につける。」	
123190	日本語表現技法	巖田 明子	(1) 評価方法 課題提出状況、レポート、オンラインまとめテストにより総合的に評価する。 (2) 評価基準 授業参加度、毎回の課題など平常点45パーセント、文獻調査報告型レポート課題30パーセント、オンラインまとめテスト（日本語検定問題）25パーセントで評価する。	②講義の目的・内容から以下の部分を削除 「さらにその内容をパワーポイントスライドを用いた発表資料とし、講義時間内で発表を行い、他の受講生や教員の評価を受け、余裕があればディスカッションにつなげる。 受講人数が多い場合、教員の判断により、実際の発表は代表者のみとなり、グループ発表とするなどの措置をとるが、必ず全員がパワーポイントスライドの印刷物を課題として提出する。」	③到達目標から以下の部分を削除 「③自分の作成したレポートをパワーポイントでプレゼンできる力を身につける。」	
124010	情報処理基礎A [GC1-4]-1	澁谷 智久	演習提出課題（50%）、タイピング課題（20%）、授業後提出課題（30%） すべてオンラインにて実施する。 A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
124010	情報処理基礎A [GC1-4]-1	栗林 克寛	演習提出課題（50%）、タイピング課題（20%）、授業後提出課題（30%） すべてオンラインにて実施する。 A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
124020	情報処理基礎A [GC1-4]-2	加賀 千秋	演習提出課題（50%）、タイピング課題（20%）、授業後提出課題（30%） すべてオンラインにて実施する。 A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
124030	情報処理基礎A [GC5/EC1-5]-1	竹内 由利子	演習提出課題（50%）、タイピング課題（20%）、授業後提出課題（30%） すべてオンラインにて実施する。 A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
124040	情報処理基礎A [GC5/EC1-5]-2	栗林 克寛	演習提出課題（50%）、タイピング課題（20%）、授業後提出課題（30%） すべてオンラインにて実施する。 A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
124050	情報処理基礎A [GC5/EC1-5]-3	木内 恵里子	演習提出課題（50%）、タイピング課題（20%）、授業後提出課題（30%） すべてオンラインにて実施する。 A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
124060	情報処理基礎A [BA1-3]-1	竹内 由利子	演習提出課題（50%）、タイピング課題（20%）、授業後提出課題（30%） すべてオンラインにて実施する。 A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			



科目コード	科目名	科目担当者	項目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
124070	情報処理基礎A [BA1-3]-2	加賀 千秋	演習提出課題 (50%)、タイピング課題 (20%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124080	情報処理基礎A [BA4-8]-1	竹内 由利子	演習提出課題 (50%)、タイピング課題 (20%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124090	情報処理基礎A [BA4-8]-2	栗林 克寛	演習提出課題 (50%)、タイピング課題 (20%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124100	情報処理基礎A [BA4-8]-3	木内 恵里子	演習提出課題 (50%)、タイピング課題 (20%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124110	情報処理基礎A [HS1-3]-1	竹内 由利子	演習提出課題 (50%)、タイピング課題 (20%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124120	情報処理基礎A [HS1-3]-2	木内 恵里子	演習提出課題 (50%)、タイピング課題 (20%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124130	情報処理基礎A [HS4-8]-1	竹内 由利子	演習提出課題 (50%)、タイピング課題 (20%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124140	情報処理基礎A [HS4-8]-2	栗林 克寛	演習提出課題 (50%)、タイピング課題 (20%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124150	情報処理基礎A [HS4-8]-3	加賀 千秋	演習提出課題 (50%)、タイピング課題 (20%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124350	情報処理応用A	泰松 範行	演習提出課題 (70%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124360	情報処理応用A	澁谷 智久	演習提出課題 (70%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124370	情報処理応用A	木川 明彦	演習提出課題 (70%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124380	情報処理応用A	阿南 大	演習提出課題 (70%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124390	情報処理応用A	阿南 大	演習提出課題 (70%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124400	情報処理応用A	木川 明彦	演習提出課題 (70%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
124410	情報処理応用A	木川 明彦	演習提出課題 (70%)、授業後提出課題 (30%) すべてオンラインにて実施する。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
141090	宗教学	瀧池 隆広	(1) 評価方法 毎授業時に提出する課題 70%、レポート 30% (2) 評価基準 A: 80~100 B: 70~79 C: 60~69 D: 60未満			
141140	スポーツ1	佐藤 淳一	実技報告レポート 60%、レポート課題 40% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満	健康・体力作りに関する運動を主に実施する。 また、健康・体力作りおよび球技種目に関するルールや歴史、練習方法に関する学習を行い、健康・体力作りや球技種目に関する知識や実践力を修得することを目的とする。 また、実技を通じて、スポーツの楽しさを体感することや、定期的な運動習慣を獲得することで基礎体力の維持向上を図る。	1. 健康・体力作りに関する運動を実践し、体力を向上させる。 2. 健康・体力作りに関する知識を身につける。 3. 球技種目の基本的なルール、技術や戦術を理解し、説明できるようになる。 4. 積極的に健康・体力作り運動や球技種目に参加し、自ら実践できるようになる。	
141150	スポーツ1	光川 眞壽	実技報告レポート 60%、レポート課題 40% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満	健康・体力作りに関する運動を主に実施する。 また、健康・体力作りおよび球技種目に関するルールや歴史、練習方法に関する学習を行い、健康・体力作りや球技種目に関する知識や実践力を修得することを目的とする。 また、実技を通じて、スポーツの楽しさを体感することや、定期的な運動習慣を獲得することで基礎体力の維持向上を図る。	1. 健康・体力作りに関する運動を実践し、体力を向上させる。 2. 健康・体力作りに関する知識を身につける。 3. 球技種目の基本的なルール、技術や戦術を理解し、説明できるようになる。 4. 積極的に健康・体力作り運動や球技種目に参加し、自ら実践できるようになる。	
141160	スポーツ1	光川 眞壽	実技報告レポート 60%、レポート課題 40% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満	健康・体力作りに関する運動を主に実施する。 また、健康・体力作りおよび球技種目に関するルールや歴史、練習方法に関する学習を行い、健康・体力作りや球技種目に関する知識や実践力を修得することを目的とする。 また、実技を通じて、スポーツの楽しさを体感することや、定期的な運動習慣を獲得することで基礎体力の維持向上を図る。	1. 健康・体力作りに関する運動を実践し、体力を向上させる。 2. 健康・体力作りに関する知識を身につける。 3. 球技種目の基本的なルール、技術や戦術を理解し、説明できるようになる。 4. 積極的に健康・体力作り運動や球技種目に参加し、自ら実践できるようになる。	
141190	スポーツ1	光川 眞壽	実技報告レポート 60%、レポート課題 40% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満	健康・体力作りに関する運動を主に実施する。 また、健康・体力作りおよび球技種目に関するルールや歴史、練習方法に関する学習を行い、健康・体力作りや球技種目に関する知識や実践力を修得することを目的とする。 また、実技を通じて、スポーツの楽しさを体感することや、定期的な運動習慣を獲得することで基礎体力の維持向上を図る。	1. 健康・体力作りに関する運動を実践し、体力を向上させる。 2. 健康・体力作りに関する知識を身につける。 3. 球技種目の基本的なルール、技術や戦術を理解し、説明できるようになる。 4. 積極的に健康・体力作り運動や球技種目に参加し、自ら実践できるようになる。	
141200	スポーツ1	染谷 由希	実技報告レポート 60%、レポート課題 40% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満	健康・体力作りに関する運動を主に実施する。 また、健康・体力作りおよび球技種目に関するルールや歴史、練習方法に関する学習を行い、健康・体力作りや球技種目に関する知識や実践力を修得することを目的とする。 また、実技を通じて、スポーツの楽しさを体感することや、定期的な運動習慣を獲得することで基礎体力の維持向上を図る。	1. 健康・体力作りに関する運動を実践し、体力を向上させる。 2. 健康・体力作りに関する知識を身につける。 3. 球技種目の基本的なルール、技術や戦術を理解し、説明できるようになる。 4. 積極的に健康・体力作り運動や球技種目に参加し、自ら実践できるようになる。	

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
141220	スポーツ1	田藤 奈緒	実技報告レポート 60%、レポート課題 40% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満	健康・体力作りに関する運動を主に実施する。 また、健康・体力作りおよび球技種目に関するルールや歴史、練習方法に関する学習を行い、健康・体力作りや球技種目に関する知識や実践力を修得することを目的とする。 また、実技を通じて、スポーツの楽しさを体感することや、定期的な運動習慣を獲得することで基礎体力の維持向上を図る。	1. 健康・体力作りに関する運動を実践し、体力を向上させる。 2. 健康・体力作りに関する知識を身につける。 3. 球技種目の基本的なルール、技術や戦術を理解し、説明できるようになる。 4. 積極的に健康・体力作り運動や球技種目に参加し、自ら実践できるようになる。	
142080	舞台芸術	今井 克佳	オンラインまとめテスト 70パーセント 課題提出状況 30パーセント			
142120	博物館学	高嶋 美穂	授業参加度60%、レポート40%			
142130	文学 [ICP]	小林 広直	1) 授業ごとの課題の提出 60% ※第1~第12回の授業課題を毎回提出(各回5点満点で採点)。締切は、講義当日の21時まで。 2) 期末試験 40% ※教科書、ノート、辞書などすべて「持ち込み可」。第13回に実施。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
142150	世界の美術	久村 卓	授業毎に提出するレポート(70%)、期末レポート(30%)で評価します。 ※オンライン授業に伴い、中間レポートを廃止しました。			
142160	世界の美術	久村 卓	授業毎に提出するレポート(70%)、期末レポート(30%)で評価します。 ※オンライン授業に伴い、中間レポートを廃止しました。			
143020	社会学	横山 麻衣	課題: 100%			
143030	法学	伊比 智	1. 評価の方法 基本的に、授業内で出す課題(レポート、リアクションペーパー、小テスト)によって判断します。 2. 評価の基準 レポート(30%)、リアクションペーパー(20%)、小テスト(50%)となります。 A:80~100点 B:70~79 C:60~69 D:60点未満 ☆欠席の回数が、実授業回数の1/3を超えた場合、原則として、課題の結果にかかわらず、不合格となります。			
143070	政治と経済	川口 智恵	課題と小テスト 60% 確認テスト 40% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
143160	日本国憲法	伊比 智	1. 評価の方法 基本的に、授業内で出す課題(レポート、リアクションペーパー、小テスト)によって判断します。 2. 評価の基準 レポート(30%)、リアクションペーパー(20%)、小テスト(50%)となります。 A:80~100点 B:70~79 C:60~69 D:60点未満 ☆欠席の回数が、実授業回数の1/3を超えた場合、原則として、課題の結果にかかわらず、不合格となります。			
144050	近現代世界史	阿南 大	歴史的知識を問う小課題を毎回、授業理解を問う小レポートを4回課す。 評価の割合は小課題40%、小レポート40%、授業への参加度20%			
144060	近現代世界史	阿南 大	歴史的知識を問う小課題を毎回、授業理解を問う小レポートを4回課す。 評価の割合は小課題40%、小レポート40%、授業への参加度20%			
144080	世界の文化と地域社会	加藤 恵理	毎回提出する授業課題 60% 期末まとめ課題 40%			
144220	地理学	阿部 一	期末試験を行わず毎回の小テストの合計点で評価する。小テストの評価を100%とし、100点満点換算で60点以上を合格とする。 A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			
144270	安全保障論	織田 邦男	・授業の出席(授業への取り組み方) ・課題の提出 ・レポートの提出 ・以上を総合的に評価する(授業への取り組み方50%、課題提出20%、レポート30%)			
144280	世界の文化と地域社会	加藤 恵理	毎回提出する授業課題 60% 期末まとめ課題 40%			
146010	生命と倫理	遠藤 千晶	次の方法・基準で評価を行う予定である。 ・授業内の提出課題 60% (予定: 12回) ・学期末レポート課題 40% (課題内容・期限は授業最終回に指示する) 評価基準 A: 80~100点 B: 70~79点 C: 60~69点 D: 60点未満			
146020	日本社会の抱える諸問題	狭野 博司	各回の授業ごとに出された課題レポートを期日までに必ず提出する。授業の出席確認の役割も果たす。その内容も授業への取り組みの評価の対象とする。 期末試験はレポート提出で代える。 採点配分は、授業姿勢30%、小論文20%、期末試験(課題レポート)50%。 A: 80~100 B: 70~79 C: 60~69 D: 60未満			
146040	国際社会の抱える諸問題	朱 建栄	評価方法 オンライン授業なので、先生が毎回出す課題に、時間内に回答を送ることで出欠を取る。回答を出す回数、規定の字数、更にその内容で総合的に評価を与える。 評価基準 上記の合計で、A: 80~100 B: 70~79 C: 60~69 D: 60未満 60以上が合格			テキスト: オンライン授業中は使わない。 参考資料: オンライン授業の前に配布する。
146070	生活と環境	古屋 力	(評価方法) 授業参加度70%、レポートの内容 30% (評価基準) A: 80~100 B: 70~79 C: 60~69 D: 60未満			
146090	生活と環境	古屋 力	(評価方法) 授業参加度70%、レポートの内容 30% (評価基準) A: 80~100 B: 70~79 C: 60~69 D: 60未満			
210010	グローバル・コミュニケーション入門	川口 智恵	課題 60% 確認テスト 40% A: 80~100、B: 70~79、C: 60~69、D: 60未満			

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
210020	グローバル・コミュニケーション入門	宮房 寿美子	点数評価とします。 平常点（授業参加度、提出物など）70%、レポート30%  この評価を基準として総合的に評価します。 評価基準：A：80～100 B：70～79 C：60～69 D：60未満 とします。			
220010	異文化交流論	梅山 香代子	各授業の課題：80%、まとめの課題：20% A：80-100 B：70-79 C：60-69 D：60未満			
220030	Issues in Globalization	ジェフリーデュランド	Class activities and homework: 60%, Midterm Paper: 20%, Final Paper: 20%			
220050	Topics in Globalization 1	ジェフリーデュランド	Class activities and homework: 60%, Midterm Project: 20%, Final Project: 20%			Textbook is not needed
220080	アメリカの社会と文化	梅山 香代子	各授業の課題：80%、まとめの課題：20% A：80-100 B：70-79 C：60-69 D：60未満			
220140	異文化間コミュニケーション	宮房 寿美子	点数評価とします。 平常点（授業参加度、提出物など）70%、レポート30%  この評価を基準として総合的に評価します。 評価基準：A：80～100 B：70～79 C：60～69 D：60未満 とします。			
230050	航空ビジネスの英語	奈良 玲子	以下の方法にて評価する。 提出物：50%、最終レポート：50% A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
230130	日本語研究3(語彙)	山本 博子	授業における毎回の提出課題のうち、比較的負担の少ない4回分は7点満点、その他の9回分は8点満点とし、合計100点満点とする。(4回×7点+9回×8点=100点満点) 対面授業より学生自身に調べさせる課題が多いので、これをもって通常の15回分の授業に相当するとみなす。			
230150	日本語教育法1	山本 博子	授業における毎回の提出課題のうち、比較的負担の少ない4回分は7点満点、その他の9回分は8点満点とし、合計100点満点とする。(4回×7点+9回×8点=100点満点) 対面授業より学生自身に調べさせる課題が多いので、これをもって通常の15回分の授業に相当するとみなす。			
230170	日本の伝統文化	奈良 玲子	以下の方法にて評価する。 提出物：50%、最終レポート：50% A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
230210	報道とメディアの世界	狭野 博司	各回の授業ごとに出された課題レポートを期日までに必ず提出する。授業の出席確認の役割も果たす。その内容も授業への取り組みの評価の対象とする。 期末試験はレポート提出で代える。 採点配分は、授業姿勢30%、小論文20%、期末試験(課題レポート)50%。 A：80～100 B：70～79 C：60～69 D：60未満	2020年の再選を目指す米トランプ大統領の情報発信のやり方は、これまでの政権とは大きく異なる。複雑で重要な政治問題でも140字しか送れないツイッターで自らの考えを伝え、これまでの新聞やテレビの報道には「嘘ニュース」などと避難を浴びせ、全面対決も辞さない。この結果、マスメディアの世界にも激震が走っている。 これまでに学んだマスメディア、ジャーナリズムの基礎的な知識をもとに、大きく変わりつつあるメディアの世界を多角的に考える。本来は履修者全員に、各自が決めたテーマについて研究したうえで、教室で成果発表をってもらう予定だったが、対面形式の授業ができないことから、今回は講義映像を視聴し、課題レポートを提出することが中心となる。  新聞やテレビ、SNSを授業に取り入れるように努め、一方的に知識を流し込むような授業とはしない。とくに情報産業や研究機関などへの就職を真剣に考えている学生には有意義な講義であると確信している。	① 多彩なメディアについて、それぞれが持つ利点、短所を理解したうえで、日々もたらされる多様な情報への理解力や選択力(メディアリテラシー)が高まる。 ② 活字メディア、テレビ、インターネットなど多彩なメディアを体感するとともに、その特性を理解することで、社会人としての情報の取り込み方が習得できる。	
230220	企業活動と環境	古屋 力	(評価方法) 授業参加度70%、レポートの内容30% (評価基準) A：80～100 B：70～79 C：60～69 D：60未満			
310010	Pre-Progressive English	下山 幸成	上記の到達目標を基準とし、課題、小テスト、授業参加度などで総合的に評価する A：80-100 B：70-79 C：60-69 D：60未満			
310070	リサーチデザイン	玉井 隆	毎授業提出するリアクションペーパー：39%、中間レポート：26%、最終レポート：35% A：80～100 B：70～79 C：60～69 D：60未満			
310090	グローバル協力入門	玉井 隆	毎授業提出するリアクションペーパー：39%、中間レポート：26%、最終レポート：35% A：80～100 B：70～79 C：60～69 D：60未満			
320010	NGOと市民社会	玉井 隆	毎授業提出するリアクションペーパー：39%、中間レポート：26%、最終レポート：35% A：80～100 B：70～79 C：60～69 D：60未満			
320050	ジェンダー論	井上 実佳	授業への参加度(課題提出)80%と、期末課題(レポート)20% A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
320070	国連研究	井上 実佳	授業への参加度(課題提出)80%と、期末課題(レポート)20% A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
320090	都市社会論	金澤 良太	評価の方法：授業内課題40%、レポート60% 評価基準：A：80～100 B：70～79 C：60～69 D：60未満 ・授業の出席(授業への取り組み方) ・課題の提出 ・レポートの提出 ・以上を総合的に評価する(授業への取り組み方50%、課題提出20%、レポート30%)			
320100	日本の外交	織田 邦男	Weekly reading and writing assignment 毎週の課題 60% Participation in seminar discussion (online) or response by chat/email オンライン参加やメール応答 20% Final essay 期末エッセイ 20%			
320160	人間の安全保障	井上 実佳	授業への参加度(課題提出)80%と、期末課題(レポート)20% A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
320190	国際関係史	竹内 雅俊	提出物を含む講義への参加(50%) レポート(50%)			
320200	国際環境論	古屋 力	(評価方法) 授業参加度70%、レポートの内容30% (評価基準) A：80～100 B：70～79 C：60～69 D：60未満			
320240	国際関係論	竹内 雅俊	(1) 平常点(授業参加度、課題の提出) (30%) (2) ミニテスト(20%) (3) レポート(50%)に基づく			
330010	移民と多文化	川口 智恵	課題 60% 確認テスト 40% A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			

科目コード	科目名	科目担当者	項目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
330020	比較宗教論	蓮池 隆広	(1) 評価方法 毎授業時に提出する課題 70%、レポート 30% (2) 評価基準 A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
330050	アメリカの社会と文化 [ICP]	加藤 恵理	Grade is determined based on the followings: 70% for weekly assignment "class activity"; 20% for summary leader; 10% for vocabulary leader			
330080	サイバーセキュリティ	住田 智雄	レポートの提出状況と内容で評価 100% A: 80-100, B: 70-79, C: 60-69, D: 60未満			
330090	ジャーナリズム論	狭野 博司	各回の授業ごとに提出された課題レポートを期日までに必ず提出する。授業の出席確認の役割も果たす。その内容も授業への取り組みの評価の対象とする。期末試験はレポート提出で代える。採点配分は、授業姿勢 30%、小論文 20%、期末試験(課題レポート) 50%。 A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満	報道の基礎知識を踏まえた授業となる。毎回、提示される関連映像、資料などをもとに、実際の報道のあり方、問題点などを考える。期末試験(レポート)では、その折々の課題をもとに原稿を書いてもらうことも検討している。こうした作業でジャーナリストの現場感覚の一端に触れる。後期の「マスメディア論」との通期履修が望ましい。		
330110	環境問題と国際関係	古屋 力	(評価方法) 授業参加度70%、レポートの内容 30% (評価基準) A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
340020	専門基礎演習A [未]	朱 建栄	評価の方法と基準 オンライン授業なので、先生が出す課題に、時間内に回答を送ることで出欠を取る。期末にレポートの提出が必要。出欠状況、出す課題とレポートで総合的に評価を与える。 上記の合計で、A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満 60以上が合格			テキスト: オンライン授業中は使わない。 参考資料: オンライン授業の前に配布する。
340040	専門基礎演習A [井上]	井上 実佳	授業への参加度(課題提出) 70%と、期末課題(企業の国際協力データベースコンテンツ) 30% A: 80-100, B: 70-79, C: 60-69, D: 60未満			
340120	専門応用演習 [未]	朱 建栄	評価の方法と基準 オンライン授業なので、先生が出す課題に、時間内に回答を送ることで出欠を取る。期末にレポートの提出が必要。出欠状況、出す課題とレポートで総合的に評価を与える。 上記の合計で、A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満 60以上が合格			テキスト: オンライン授業中は使わない。 参考資料: オンライン授業の前に配布する。
340170	専門応用演習 [玉井]	玉井 隆	毎月提出する書評レポートと研究レポートを踏まえ総合的に判断する。 A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
340180	専門応用演習 [川口]	川口 智恵	・過年: 授業への貢献(受講態度、自発的な発言、ディスカッションへの参加、課題提出など) 50% ・春学期: プレゼンテーション 50% ・秋学期: ゼミレポート 50% A: 80-100, B: 70-79, C: 60-69, D: 60未満			
340200	卒業研究演習 [未]	朱 建栄	評価の方法と基準 オンライン授業なので、先生が出す課題に、時間内に回答を送ることで出欠を取る。卒論指導に従い、春学期は本論部分を完了し、提出して評価の対象になる。秋学期は卒論の提出で評価する。出欠状況、卒論執筆の進捗で総合的に成績評価を与える。 上記の合計で、A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満 60以上が合格			テキスト: オンライン授業中は使わない。 参考資料: オンライン授業の前に配布する。
340250	卒業研究演習 [玉井]	玉井 隆	毎月提出する書評レポートと研究レポートを踏まえ総合的に判断する。 A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
420010	対照言語学	松本 純一	平常点100% (毎回の講義課題の集計による)			
420030	英語文化論1	高尾 享幸	以下の配分で評価を行います: 授業参加意欲 10点、課題 30点、授業内活動 40点、自宅受験試験 20点 A: 80-100, B: 70-79, C: 60-69, D: 60未満			
420050	アメリカ文学	松本 美千代	提出課題による平常点と期末レポートで総合的に評価する。期末レポート20%、提出課題80%。			
420070	英語のしくみ1	高尾 享幸	以下の配分で評価を行います: 授業参加意欲 10点、課題 30点、授業内活動 40点、自宅受験試験 20点 A: 80-100, B: 70-79, C: 60-69, D: 60未満			
420110	英語科教育法II-1	津村 敏雄	評価方法: 授業内活動、課題(学習指導案とワークシートなど)により総合的に評価する。 評価基準: 授業内活動50点、課題60点とし、60点以上を合格とする。			
420130	教育方法論I	富永 裕子	授業は、講義、授業実践などの動画の視聴による問題提起と課題処理(含レポート提出)を中心に行われる。さまざまな教材や授業スタイルがあることを認識し、授業を効果的、効率的に進めていくための重要な要因を求め、自分の意見、判断等を積極的に課題提出などを通して述べていくことが要求される。 1. 授業内活動 (10%) 2. 事後学習 (30%) 3. 授業参加意欲 (10%) 4. 課題処理 (50%) とし、60点以上が合格 A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
420410	English for Academic Purposes 3	ジェフリーデュランド	Papers 50%, Class activities: 15%, Homework: 15%, Final Test: 20%			
420430	英米児童文化1	川谷 弘子	平常点(参加度、小レポート) 50%、課題レポート(50%)			
420450	日英語のレトリック	高尾 享幸	以下の配分で評価を行います: 授業参加意欲 10点、課題 30点、授業内活動 40点、自宅受験試験 20点 A: 80-100, B: 70-79, C: 60-69, D: 60未満			
430110	道徳教育指導法	末藤 美津子	毎回の授業時に課す課題(50%)と最終授業時に課す確認テスト(50%)によって評価する			
430240	特別活動指導法	末藤 美津子 松田 素行	末藤: 毎回の授業時に課す課題(25%)と末藤担当の最終授業時に課す確認テスト(25%)によって評価する 松田: レポート、日常の課題を総合的に判断する			
440030	専門応用演習 [松本純]	松本 純一	平常点100% (毎回の講義課題の集計による)			
440070	専門応用演習 [松本美]	松本 美千代	提出課題による平常点と期末レポートで総合的に評価する。期末レポート20%、提出課題80%。			
440130	卒業研究演習 [松本純]	松本 純一	平常点100% (毎回の講義課題の集計による)			
440170	卒業研究演習 [松本美]	松本 美千代	提出課題による平常点と期末レポートで総合的に評価する。期末レポート20%、提出課題80%。			
440180	卒業研究演習 [下山]	下山 幸成	上記の到達目標を基準とし、事前学習、課題、小テスト、発表、建設的発言などで総合的に評価する A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
450010	英米文化論特講	末藤 美津子	毎回の授業時に課す課題によって評価する			

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
450020	ニュースの英語特講	中尾 照代	以下の方法にて評価する。 授業参加・課題等：40% レポート（アウトライン、プレゼン原稿等を含む）：30%			
460020	英米文学入門	小林 広直	1) 授業ごとの課題の提出 60% ※第1～第12回の授業課題を毎回提出（各回5点満点で採点）。締切は、講義当日の21時まで。 2) 期末レポート 40% ※第13回の課題として「期末レポート」を書く A: 80～100、B: 70～79、C: 60～69、D: 60未満			
480010	英語音声学	高尾 享幸	以下の配分で評価を行います： 授業参加意欲 10 点、課題 30 点、授業内活動 40 点、自宅受験試験 20 点 A: 80～100、B: 70～79、C: 60～69、D: 60未満			
480020	現代の英文法	松本 純一	平常点100%（毎回の講義課題の集計による）			
480040	文学作品を読む2	田村 亮	毎回のレポート 100%			
480060	英語科教育法1	津村 敏雄	評価方法：授業内活動、課題により総合的に評価する。 評価基準：授業内活動50点、課題50点とし、60点以上を合格とする。			
480090	教育制度比較論	末藤 美津子	毎回の授業時に課す課題（50%）と最終授業時に課す確認テスト（50%）によって評価する			
490130	翻訳入門	河島 弘美	毎授業で提出する課題レポート70%、最終レポート30%とする A: 80-100 B: 70-79 C: 60-69 D: 60未満			
610010	心理学概論	塩谷 年平	評価の方法 毎回の確認テスト（オンライン） 100%  評価の基準 A: 80～100、B: 70～79、C: 60～69、D: 60未満（または、確認テストの未提出が授業回数の1/3を超えた場合）			
610020	心理学概論	塩谷 年平	評価の方法 毎回の確認テスト（オンライン） 100%  評価の基準 A: 80～100、B: 70～79、C: 60～69、D: 60未満（または、確認テストの未提出が授業回数の1/3を超えた場合）			
610070	スポーツ健康概論	光川 眞壽	以下の方法にて評価する。  中間テスト（オンライン） 20% 期末テスト（オンライン） 30% 授業内での小テスト等 50%  A: 80～100、B: 70～79、C: 60～69、D: 60未満			
610140	人間科学基礎演習A(心理・カウンセリング)	塩谷 年平	評価方法 毎回の授業の課題（オンライン）50% 2本のレポート（20%+30%） 50%  評価の基準 A: 80～100、B: 70～79、C: 60～69、D: 60未満（または、毎回の課題の未提出が授業回数の1/3を超えた場合）	講義の内容 自己理解・他者理解のためのオンラインを通じたワーク コミュニケーションについて学ぶオンラインを通じたワーク 心理学の論文の書き方 心理学の実験や調査の方法 心理学の論文の構成に準じたレポートの作成		
610150	人間科学基礎演習A(心理・カウンセリング)	有木 永子	【評価方法】 受講状況・提出物とレポートを総合して評価する。 【評価基準】 レポート2回=50% 提出物（毎回の課題提出内容）=50% A: 80～100 B: 70～79 C: 60～69 D: 60未満（または、欠席が講義回数の1/3を超えた場合）	【具体的な講義内容】 2. 個人ワークを中心に自己理解を深め、セルフケア力を育成する。		
610160	人間科学基礎演習A(心理・カウンセリング)	相羽 美幸	提出課題（レポート2本×25%ずつ=50%）と授業参加状況（50%）  授業参加状況は、毎回の授業時にワークを行い、当日の24時まで提出することによって評価する。  A: 80～100、B: 70～79、C: 60～69、D: 60未満			
610190	人間科学基礎演習A(スポーツ・健康)	益谷 智久	レポート演習提出課題（70%）、授業後提出課題（30%） すべてオンラインにて実施する。 A: 80～100、B: 70～79、C: 60～69、D: 60未満			
610400	臨床心理学概論	塚本 匡	【評価の方法】 今回はオンラインとなったため、期末試験は中止として、以下の方法にて総合的に評価する。 課題1（設問・レポート・小テストなど）60% 課題2（コメント・小レポート・質問疑問感想など）40% 詳細は、担当者が授業内で説明する。			
610410	臨床心理学概論	有木 永子	【評価の方法】 今回はオンラインとなったため、期末試験は中止として、以下の方法にて総合的に評価する。 課題1（設問・レポート・小テストなど）60% 課題2（コメント・小レポート・質問疑問感想など）40% 詳細は、担当者が授業内で説明する。			
610420	心理学統計法	相羽 美幸	授業参加状況（30%）と復習テスト（70%）  毎回の授業後に提出してもらった復習テストを定期試験の代わりとする。また、復習テストの提出をもって出席とみなす。  A: 80～100、B: 70～79、C: 60～69、D: 60未満			
610440	スポーツ生理学	光川 眞壽	以下の方法にて評価する。  中間テスト（オンライン） 20% 期末テスト（オンライン） 30% 授業内での小テスト等 50%  A: 80～100、B: 70～79、C: 60～69、D: 60未満			
610450	公共政策入門	小林 大祐	レポート（40%） リアクションペーパー（60%）  A: 80～100、B: 70～79、C: 60～69、D: 60未満			

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
610460	地域コミュニティ論入門	金澤 良太	評価の方法：授業内課題40%、レポート60% 評価基準：A：80～100 B：70～79 C：60～69 D：60未満			
610470	心理学統計法	相羽 美幸	授業参加状況（30%）と復習テスト（70%） 毎回の授業後に提出してもらった復習テストを定期試験の代わりとする。また、復習テストの提出をもって出席とみなす。 A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
620040	発達心理学	福田 佳織	以下の方法にて評価する。 全講義回数の3分の2以上の出席（小テストの提出回数）。 各回小テストの合計得点(100%)。ただし、小テストには長文記述問題（レポート）も含まれる。 A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満	人間は誕生から死に至るまでの間、発達し続ける存在である。人間はある一定の段階を経ながら発達するよう組織された遺伝子を持って誕生するが、その発達は周囲の影響によって促進されたり、阻害されたり、歪曲されたり、改善されたりもする。 そこで、本講義では、①人間の一生にわたる発達の特徴や変化の過程、各発達段階の危機を理解する。また、②どのような要因が発達を促進、阻害・歪曲、改善するのかについて検討する。③④を通して、人間理解を深めることを目的とする。 なお、人間の発達において、乳幼児期は心身の基盤形成の時期といえる。本講義で人間の生涯発達の全体像を理解し、「子ども学」にて、発達の基盤となる乳幼児の発達をより詳細に学習することが望ましい。 本講義は、 * 公認心理師受験資格を申請するために必要な科目である。 * 認定心理士資格を申請するための単位充足として認められた科目である。		
620070	子ども学	福田 佳織	以下の方法にて評価する。 全講義回数の3分の2以上の出席（小テストの提出回数）。 各回小テストの合計得点(100%)。ただし、小テストには長文記述問題（レポート）も含まれる。 A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満	現代社会において、子どもは皆幸せに育っているだろうか。中には、適切な養育を受けられない子どもも少なくない。その理由の1つには、養育者が子どもの発達について知識を持ち合わせていないことが挙げられる。少子化により子どもに関わる機会が少ない中、出産後すぐに、誰からの支援もなく、子育ての責任を負うことになる現状を変えなければ、問題は解決されないだろう。 そこで、本講義では、乳児（おおむね0歳）、幼児（おおむね1歳～小学校就学前）の子どもの発達特性を十分に理解するとともに、その知識に基づいて、大人がどのように子どもにかかわることが望ましいか（あるいは、望ましくないか）、具体的な行動を例示できるようになることを目的としている。 そして、こうした知識を持ち、養育者支援に携わったり、乳幼児に関わる仕事で活用したりすることで、社会に貢献できる能力を養うことを目指す。 3年次開講科目「保育体験」を受講する場合は、本講義の単位取得していること、あるいは、当該年度に受講中である必要がある。		
620090	児童家庭福祉	山下 愛実	<単位取得の最低基準> 出席実数が実授業数の2/3に満たない者は、最終レポートの提出の如何にかかわらず不合格となる。 <評価の方法・基準> ●授業への参加度（15%） ●授業内で提示した課題レポート（35%） ：与えられたテーマについて自分の考察を含めて、期限内に提出すること。 ●最終レポート（50%） ：最終レポートの内容から評価します。 <評価基準> A:80～100点 B:70～79点 C:60～69点 D:60未満			
620110	社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学)	相羽 美幸	授業参加状況（30%）と復習テスト（70%） 毎回の授業後に提出してもらった復習テストを定期試験の代わりとする。また、復習テストの提出をもって出席とみなす。 A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
620130	スポーツ心理学	滋谷 智久	レポート演習提出課題（70%）、授業後提出課題（30%） すべてオンラインにて実施する。 A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
620140	スポーツバイオメカニクス	光川 真壽	以下の方法にて評価する。 中間テスト（オンライン） 20% 期末テスト（オンライン） 30% 授業内での小テスト等 50% A：80～100、B：70～79、C：60～69、D：60未満			
620180	リサーチ入門	佐藤 麻衣	小テスト60%、課題40%			テキスト： 大谷信介・木下栄二・後藤範章・小松洋・永野武編、2013『新・社会調査へのアプローチ 論理と方法』ミネルヴァ書房
620190	きずなとつながりの社会学	佐藤 麻衣	課題40%、リアクションペーパー20%、小テスト40%		(1) 人と人との関係性を、社会とのつながりの中で理解できるようになる。 (2) 現代社会におけるソーシャル・キャピタルの意義について理解できるようになる。	テキスト： 稲葉陽二、2011『ソーシャル・キャピタル入門 孤立から絆へ』中公新書
620210	地域文化論	金澤 良太	評価の方法：授業内課題40%、レポート60% 評価基準：A：80～100 B：70～79 C：60～69 D：60未満			
620270	産業・組織心理学	坊 隆史	【評価方法】 授業の参加度や小レポートなど（65%）、最終レポート（35%）により、総合的に評価する。			【テキスト】加藤啓子・三宅美樹（編）2020 産業・組織心理学 ミネルヴァ書房 【参考文献】 新田泰生（編）2019 産業・組織心理学 遠見書房 松田幸弘（編者）2018 経営・ビジネス心理学 ナカニシヤ出版 太田信夫（監修）金井篤子（編）2017 産業・組織心理学 シリーズ心理学と仕事11 北大路書房 金井篤子（編）2016 産業心理臨床実践一人（人）と職場・組織を支援する ナカニシヤ出版

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
620280	産業・組織心理学	坊 隆史	【評価方法】 授業の参加度や小レポートなど(65%)、最終レポート(35%)により、総合的に評価する。			【テキスト】加藤容子・三宅実樹(編)2020 産業・組織心理学 ミネルヴァ書房 【参考文献】 新田泰生(編) 2019 産業・組織心理学 逸見書房 松田幸弘(編者) 2018 経営・ビジネス心理学 ナカニシヤ出版 大田信夫(監修) 金井萬子(編) 2017 産業・組織心理学 シリーズ心理学と仕事11 北大路書房 金井萬子(編) 2016 産業心理臨床実践一冊(人)と職場・組織を支援する ナカニシヤ出版
620330	福祉心理学	堀谷 隼平	評価の方法 毎回の確認テスト(オンライン)100%  評価の基準 A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満(または、確認テストの未提出が授業回数の1/3を超えた場合レポート演習提出課題(70%)、授業後提出課題(30%) すべてオンラインにて実施する。			
620370	運動・スポーツ指導論	澁谷 智久				
620400	スポーツマネジメント	田蔵 奈緒	以下の方法にて評価する。  期末レポート(オンライン) 20% 期末テスト(オンライン) 30% 講義毎のテスト等(オンライン) 50%  A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満	スポーツマネジメントは経営学(マネジメント)をスポーツに応用した特殊経営学であり、競技間で確立された汎用性の高い理論で、スポーツの現場においても一般化が可能であるものをスポーツ現場の実例と経営理論を照らし合わせながら紹介する。しかし、スポーツ経営者が、試合展開や結果を予測できない不確実性があるという固有の特徴があり、その独自性から他領域の経営理論をスポーツビジネスの現場で実践的に正確な理論を導き出すためには、他領域の理論を借りるのではなく、それらをスポーツマネジメントの特異性や独自性を考慮しながら調整し、スポーツマネジメントの独自の理論として確立したものもあるため、スポーツが経営される時に確認できる固有の概念や理論について、理論と実践の違いと理論を現実へ応用することを履修者が理解し、社会で活用できるよう紹介していく。プロスポーツとその他スポーツ組織とのマネジメントの違いに留意し、ガバナンス、経営資源、コンプライアンス、アカウンタビリティについて注目し解説をする。	1.スポーツマネジメントの基礎知識(用語など)が理解できる 2. 経営学を応用しスポーツマネジメントと捉えることができる。また、スポーツマネジメントから経営学の理解を深めることができる 3. スポーツマネジメントの学びをスポーツ組織のマネジメントのみならず、広く一般企業にも応用できる力を養う	【テキスト】スポーツ経営学入門ー理論とケースー増補改訂版 大野貴司 三恵社 【参考文献】Reference book 公益財団法人 日本スポーツ協会/スポーツチーム経営の教科書 有限会社 あざき監査法人 学研/スポーツビジネス・マネジメント 小野寿昇 二 日本経済新聞社出版 フィットネスクラブマネジメント技能検定ベーシック(基礎)編者 フィットネスクラブ・マネジメント技能士会 その他講義内で紹介
620470	行政学	小林 大祐	リアクションペーパー+授業内小テスト(100%)  A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
620500	社会福祉学	小林 大祐	リアクションペーパー(60%)  A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
630050	子どもの保健	松崎 真実	課題の提出状況60%、課題の内容(レポート、ワーク等)40%  以下の方法にて評価する。			
630110	テニスの指導理論	佐藤 淳一	テスト(テニスの科学)(オンライン) 30% テスト(テニスのルール)(オンライン) 20% 授業内での小テスト等 50%  A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
630120	地方自治論	小林 大祐	リアクションペーパー(60%)  A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
630240	司法・犯罪心理学	水田 一彦	①評価方法~「小テスト(100%)」  期末試験を行わず毎回の小テストの合計点で評価する。小テストの評価を100%とし、100点満点換算で60点以上を合格とする。  A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
630350	地域環境論	阿部 一	期末試験を行わず毎回の小テストの合計点で評価する。小テストの評価を100%とし、100点満点換算で60点以上を合格とする。  A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
630370	環境問題入門	阿部 一	期末試験を行わず毎回の小テストの合計点で評価する。小テストの評価を100%とし、100点満点換算で60点以上を合格とする。  A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
650080	専門応用演習【光川】	光川 真壽	授業参加・理解度(20%)、口頭発表(40%)、課題レポート(40%)にて評価する。  A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
650110	専門応用演習【相羽】	相羽 美幸	授業参加状況(50%)、提出課題(25%)、研究成果の発表(25%)  授業参加状況は、ワークの提出で評価する。  A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
650160	専門応用演習【田蔵】	田蔵 奈緒	以下の方法にて評価する。  ディスカッション貢献度 20% レポート提出(オンライン) 30% 講義毎の課題(オンライン) 50%  A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満	自主的・主体的にスポーツビジネスやスポーツマネジメントの研究するための基礎知識と研究方法を指導する。各自が、研究を遂行し、説明できる能力を身につける。オンラインによるプレゼンテーション大会などに参加して積極性を身につける	1. 自主的・主体的に行動できる 2. 社会的有効なチームワークが身につく 3. 個人研究を遂行できる 4. スポーツビジネス・マネジメントの学問知識が身につく 5. 社会適応能力が身につく	【テキスト】 フィットネスクラブマネジメント技能検定ベーシック(基礎)テキスト 編者 フィットネスクラブ・マネジメント技能士会 【参考文献】 スポーツイベント検定教本 スポーツイベントで社会を元気に 一般社団法人日本EVENT産業振興協会(JACE) その他講義内で紹介
650270	子どもと福祉ゼミII-3	相羽 美幸	授業参加状況(50%)、提出課題(25%)、研究成果の発表(25%)  授業参加状況は、ワークの提出で評価する。  A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
650280	人間と社会ゼミII-1	宮園 久栄		グループワークやディスカッションを行いつつ、2年間のゼミは、ゼミ生同志で作っていきものであり、ゼミの集大成であるゼミ論・卒論の作成に取り組み、ゼミ論の提出は必須である。 そのほか、刑務所・少年院等の施設参観、他大学とのゼミ交流などゼミ時間以外のイベントも可能な範囲で予定している。これらの活動にも積極的に参加してほしい。	ゼミは、ゼミ生同志で作っていきものであり、学問の追究の場であると同時に人間形成の場であるゆえ、以下の点が到達目標としたい。 (1) 一生つきあえる友人を作る (2) 勉強したと思える時間を経験する (3) 他大学のゼミとの交流や刑務所参観を通して視野を広げることができる。 (4) 地域の人との交流を通して、社会人としての自覚を持つことができる (5) ゼミ論、卒論の作成、発表を通して、論理的に考察する力、文章力、プレゼンテーション能力が身につく。	
720030	簿記入門	木村 昭興	評価方法:期末課題、確認問題を総合的に評価する。 評価基準:期末課題40%、確認問題60% A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			

科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
720060	経済の見方	川端 和美	テスト (40%) , 講義への参画度 (提出物を含む) (60%)によって総合的に評価する。 最終評価は以下の基準で成績とする。 A:80~100 B:70~79 C:60~69 D:60未満			
720170	ミクロ経済	川端 和美	テスト (50%) , 講義への参画度 (提出物を含む) (50%)によって総合的に評価する。 最終評価は以下の基準で成績とする。 A:80~100 B:70~79 C:60~69 D:60未満			
720190	マクロ経済	川端 和美	テスト (50%) , 講義への参画度 (提出物を含む) (50%)によって総合的に評価する。 最終評価は以下の基準で成績とする。 A:80~100 B:70~79 C:60~69 D:60未満			
720200	人的資源基礎	堀井 希依子	平常点:60%・確認テスト:15%・期末レポート:25% A:80~100 B:70~79 C:60~69 D:60未満 【備考】出席は毎回確認するが、その状況については自己管理すること。			
720220	会計情報	土井 充	1.評価方法 小テストとレポートにより評価する。 2.評価基準 小テスト:40%、レポート:60% A:80~100 B:70~79 C:60~69 D:60未満			
720260	民法	松原 孝明	毎回の提出レポートの内容により評価する (レポート100%)。			
720290	ビジネス能力検定	伊藤 京子	提出物 5 0 % 期末試験 5 0 %			
720310	企画・プレゼンテーション技法	赤澤 周平	以下の方法にて評価する。 授業内 (各週) 提出課題 (オンライン) 70% 期末テスト (オンライン) 30% A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満	受験教育中心の弊害として予め答えが決められているものに答える訓練が現代の教育の中心となっていると言われて久しい。本科目では現代社会で求められる企画力・発想力を養うことを目的とし、 1) 企画に必要な基礎技術の習得 2) 他社の意見を参考にする能力の実践 を目指す。これによって、今後直面する種々の問題に対する自らの創造的取り組みへの意欲を醸成する。 本来、講義に加え実習・討論を中心とした講座運営を企図していたが、他人数Online授業で討論が難しいため、講義(動画)と共に課題提出での他者のアイデアを共有を進め、参考にする能力を醸成する。		
720330	簿記	木村 昭興	評価方法: 期末課題、演習問題を総合的に評価する。 評価基準: 期末課題40%、演習問題60% A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
730010	マーケティング・リサーチ	隈本 純	毎回の「授業課題 (5点)」×12回分(60点)と第13回目授業での「期末課題(40点;第14回、15回授業課題分含む)」とを合わせて100点満点として成績評価する。なお、毎週の「授業課題」未提出が5回以上の方は「不合格」とする。A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
730030	国際経営	手 新建	期末レポート (50%) と普段の課題提出 (50%) に基づいて評価する。評価は、「A:80~100 B:70~79 C:60~69 D:60未満」とする。			
730040	金融論	矢島 格	授業内で提示する確認テスト:50%、授業内で提示する課題:50%			
730050	組織行動	小林 康一	各講義で提出されたレポート70% 期末レポート30%			
730080	ビジネス交渉	平野 賢哉	評価方法: 講義内の提出物 70%、期末レポート 30%により評価する A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
730110	事業継承概論	石黒 順子	出席率が2/3以上でない単位は認めない。 評価にあたっては、次の各項目により総合的に評価する。 各授業の提出物+確認テスト:80% レポート:20%			
730130	中小企業論	石黒 順子	出席率が2/3以上でない単位は認めない。 評価にあたっては、次の各項目により総合的に評価する。 各回の課題:55% 期末テスト:45%			
730150	管理会計	木村 昭興	授業参加度 (20%)、授業内で提示する課題 (80%) A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
730160	情報管理	木川 明彦	評価方法: レポート課題 40%・授業後課題(講義の取り組み姿勢含む)60% 評価基準: 総合評価: 60点以上を単位認定とする。 なお、評価は「A:80~100点」「B:70~79点」「C:60~69点」「D:60点未満」とする。			
730190	コーポレートファイナンス	富田 洋介	レポート50%+授業への取り組み(平常点)50% 原則上記によって評価する。 必要と認められた場合には追加レポートなどを課すこともある。 A:80~100 B:70~79 C:60~69 D:60未満			
730240	消費者行動	本庄 加代子	期末課題レポート 24点 + リアクションペーパー 76点 60点以上を合格とします。 配点評価: A:80~100点 B:70~79点 C:60~69点 D:60点未満			
730260	サービスマーケティング	八塩 圭子	評価: 平常 (課題提出) 点 (5 × 12 = 60)、授業中テスト (15) + レポート (25) の合計で評価する。			
730280	流通ビジネス経営	森 宏	(1) 評価方法 課題レポート、期末レポートを総合的に評価する。(2) 評価基準 課題レポート50%、期末レポート50%とし、評価はA:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満とする。			
730290	店舗経営	森 宏	(1) 評価方法 課題レポート、期末レポートを総合的に評価する。(2) 評価基準 課題レポート50%、期末レポート50%とし、評価はA:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満とする。			
730320	産業組織論	鶴瀬 恵子	授業ごとの課題提出 (宿題を含む) 70%及び期中・期末レポート (30%) により評価します。			
730350	労働経済	平野 賢哉	評価方法: 講義内の提出物 70%、期末レポート 30%により評価する A:80~100、B:70~79、C:60~69、D:60未満			
730360	ファイナンシャル経済	村上 秀人	授業内課題50%、授業内テスト50%			
730420	金融ビジネス	矢島 格	授業内で提示する確認テスト:50%、授業内で提示する課題:50%			



科目コード	科目名	科目担当者	項 目			
			評価の方法・基準 ※必須項目	講義の目的・内容	到達目標	テキスト・参考文献等
730470	リーダーシップ論	洞野 康一	評価の方法・基準 期末の課題レポートの成績50%と毎回の課題レポート(気づきと学びカード)の成績50%により、総合評価する。 評価は、A:80~100 B:70~79 C:60~69 D:60未満			
730490	ビジネス・リーディング	北田 敬子	授業参加度(20%) 課題提出(30%) 授業内小テスト(含レポート)合計(50%) 授業参加度(出席)は毎回の「リアクションコメント/受講した感想」の内容から判定します。			
730500	ビジネス英語II	大村 恵子	Quizzes 毎回の授業における小テスト 60% Assignments レポート課題 20% Notebook 20% ノート提出 A:80~100 B:70~79 C:60~69 D:60未満	[Aims] The overall aims of the course are: 1) to develop listening skills by watching the video interviews of 14 interesting professionals; 2) to provide students with specific English vocabulary and phrases that will help them in their working life; 3) to develop a deeper understanding of the culture of the workplace. [目的] 1) 日本で働く日本人や外国人のインタビューを通して、多様な英語を聞き取れる力を養う。2) 仕事に役立つ英語表現を学ぶ。3) 働くことの楽しさ、難しさ、キャリアの向き方、日本人と日本文化などについて理解を深める。 [Content] Students watch video interviews of 14 professionals including a chef, an architect, a translator, and a chief technology officer. Listen for gist, summarize the content, and discuss the themes online. [内容] プレゼンターのシェフ、建築家、ゲーム開発者、IT企業の社員など14名の職業人が自分と仕事について語ったビデオを視聴し、キーワードの聞き取り、内容の要約、意見交換などをオンラインで行う。		
730510	ビジネス法	橋本 恵子	授業ごとの課題提出(宿題を含む)70%及び期中・期末レポート(30%)により評価します。			
740010	ビジネス基礎演習I [BA1/BA2]	伊藤 京子	提出物 50% 期末試験 50%			
740020	ビジネス基礎演習I [BA3/BA4]	青山 久美子	以下の方法にて評価する。 課題提出(オンライン)50% 期末試験(オンライン)50% A:80~100 B:70~79 C:60~69 D:60未満			
740030	ビジネス基礎演習I [BA5/BA6]	青山 久美子	以下の方法にて評価する。 課題提出(オンライン)50% 期末試験(オンライン)50% A:80~100 B:70~79 C:60~69 D:60未満			
740040	ビジネス基礎演習I [BA7/BA8]	伊藤 京子	提出物 50% 期末試験 50%			
740090	専門基礎演習I [BA1]	堀井 希依子	課題提出により評価する。ローテーション12回分(1回7点×12回=合計84点)、クラス担任から提示されたレポート課題16点の合計で評価する。	講義は大きく2つの実施方法により構成される。 (1)現代経営学部の教員がローテーションで担当(担任を含め4人×3回=計12回) (2)クラス担任による担当(レポート課題含む)		
740130	専門基礎演習I [BA2]	赤尾 充哉	課題提出により評価する。ローテーション12回分(1回7点×12回=合計84点)、クラス担任から提示されたレポート課題16点の合計で評価する。	講義は大きく2つの実施方法により構成される。 (1)現代経営学部の教員がローテーションで担当(担任を含め4人×3回=計12回) (2)クラス担任による担当(レポート課題含む)		
740170	専門基礎演習I [BA3]	安藤 拓生	課題提出により評価する。ローテーション12回分(1回7点×12回=合計84点)、クラス担任から提示されたレポート課題16点の合計で評価する。	講義は大きく2つの実施方法により構成される。 (1)現代経営学部の教員がローテーションで担当(担任を含め4人×3回=計12回) (2)クラス担任による担当(レポート課題含む)		
740210	専門基礎演習I [BA4]	本庄 加代子	課題提出により評価する。ローテーション12回分(1回7点×12回=合計84点)、クラス担任から提示されたレポート課題16点の合計で評価する。	講義は大きく2つの実施方法により構成される。 (1)現代経営学部の教員がローテーションで担当(担任を含め4人×3回=計12回) (2)クラス担任による担当(レポート課題含む)		
740250	専門基礎演習I [BA5]	隈本 純	課題提出により評価する。ローテーション12回分(1回7点×12回=合計84点)、クラス担任から提示されたレポート課題16点の合計で評価する。	講義は大きく2つの実施方法により構成される。 (1)現代経営学部の教員がローテーションで担当(担任を含め4人×3回=計12回) (2)クラス担任による担当(レポート課題含む)		
740290	専門基礎演習I [BA6]	八塩 圭子	課題提出により評価する。ローテーション12回分(1回7点×12回=合計84点)、クラス担任から提示されたレポート課題16点の合計で評価する。	講義は大きく2つの実施方法により構成される。 (1)現代経営学部の教員がローテーションで担当(担任を含め4人×3回=計12回) (2)クラス担任による担当(レポート課題含む)		
740330	専門基礎演習I [BA7]	平野 賢哉	課題提出により評価する。ローテーション12回分(1回7点×12回=合計84点)、クラス担任から提示されたレポート課題16点の合計で評価する。	講義は大きく2つの実施方法により構成される。 (1)現代経営学部の教員がローテーションで担当(担任を含め4人×3回=計12回) (2)クラス担任による担当(レポート課題含む)		
740370	専門基礎演習I [BA8]	木川 大輔	課題提出により評価する。ローテーション12回分(1回7点×12回=合計84点)、クラス担任から提示されたレポート課題16点の合計で評価する。	講義は大きく2つの実施方法により構成される。 (1)現代経営学部の教員がローテーションで担当(担任を含め4人×3回=計12回) (2)クラス担任による担当(レポート課題含む)		
740730	専門応用演習 [時上]	時上 秀人	変更なし	社会情勢を鑑み、フィールドワークを実施できない状況があり得る		
740770	専門応用演習 [石黒]	石黒 順子	出席率が2/3以上でない単位は認めない。 評価にあたっては、次の各項目により総合的に評価する。 提出物:60% ワークへの貢献度:40%	企業から提示される課題にそって、商品の企画、開発、販売戦略の構築など、ビジネスの流れを体験する。新しいビジネスを創造するプロセスを理解する。		
740820	専門応用演習 [八塩]	八塩 圭子				教科書「1からの商品企画」(碩学会・中央経済社) デジタル版
910030	特別講義I	清水 由美	課題の提出と内容50%、授業への参加貢献20%、最終発表(発表原稿と視聴資料)30%、			
910200	ビジネス法律研究	橋本 恵子	授業ごとの課題提出40%、質問・意見などの授業参加状況(20%)及び期末レポート(40%)により評価します。			